

浪岡高校硬式野球部除雪ボランティア

作業の様子



東奥日報(朝刊)掲載／ 2015年(平成27)年2月25日(水)



雪かきボランティアに参加する浪岡高野球部のメンバーら

青森

雪かき奉仕せよ

浪岡高校野球部
高齢者宅周辺で

青森市社会福祉協議会浪岡支部と浪岡高校の生徒らが21日、浪岡地区の1人暮らしの高齢者宅周辺で雪かきボランティア活動をし爽やかな汗をかいた。雪かきボランティア活動は例年実施。この日、浪岡

高野球部のメンバー15人と、市社協浪岡支部の職員ら計約20人は、浪岡地区で1人で暮らす小笠原ミツ子さん(76)宅周辺に集合。自宅を囲うように積もった雪を、スコップやスノーダンプを使って、せせと片付けた。

小笠原さんは、スノーダンプにたくさん雪を積んで雪片付けをする生徒らの姿を見ながら「腰も悪くて入り口周辺の雪かきしかできなかつた。若い人がこんなにたくさん来てくれて本当に助かります」と満面の笑みを見せた。

雪かきボランティアに初めて参加したという1年生の石岡陽登君(15)は「トレーニングにもなるし、人の助けにもなるととてもいい気持ちです」と汗をぬぐった。(守谷季浩)

【実施】
平成27年2月21日(土)
青森市浪岡吉野田地区

※この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。